

令和4年度着手
令和7年度 第1回計画変更
道営土地改良事業計画書

(区画整理)

ほろないだい
幌内第2地区

北海道オホーツク総合振興局

土 地 改 良 事 業 計 画 書

<p>第1章 目 的 1</p> <p>第2章 地域及び地積 1</p> <p style="padding-left: 20px;">第1節 地域 1</p> <p style="padding-left: 20px;">第2節 地積 1</p> <p>第3章 現 況 2 ~ 6</p> <p style="padding-left: 20px;">第1節 気象及び海象 2</p> <p style="padding-left: 40px;">1 一般気象 2</p> <p style="padding-left: 40px;">2 特殊気象 2</p> <p style="padding-left: 40px;">3 海象 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第2節 土地状況 3 ~ 4</p> <p style="padding-left: 40px;">1 地形、土壌及び侵食の程度 3</p> <p style="padding-left: 40px;">2 土地分類 -</p> <p style="padding-left: 40px;">3 土地利用の状況 4</p> <p style="padding-left: 40px;">4 土地所有の状況 4</p> <p style="padding-left: 20px;">第3節 水利状況 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第4節 道路現況 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第5節 地域農業の概況 5 ~ 6</p> <p style="padding-left: 40px;">1 産業別就業人口 5</p> <p style="padding-left: 40px;">2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専業別農家数 5</p> <p style="padding-left: 40px;">3 動力農機具及び主要家畜頭数 5</p> <p style="padding-left: 40px;">4 主要作物作付状況 6</p> <p style="padding-left: 40px;">5 農業の動向 6</p> <p style="padding-left: 20px;">第6節 地域環境の概要 7</p>	<p>第4章 一般計画 7 ~ 12</p> <p style="padding-left: 20px;">第1節 事業計画の要旨 7</p> <p style="padding-left: 40px;">1 要旨 7</p> <p style="padding-left: 40px;">2 事業別面積 7</p> <p style="padding-left: 20px;">第2節 営農計画及び土地利用計画 8 ~ 11</p> <p style="padding-left: 40px;">1 営農計画の概要 8 ~ 10</p> <p style="padding-left: 40px;">2 土地利用区分 11</p> <p style="padding-left: 40px;">3 作付方式 11</p> <p style="padding-left: 40px;">4 生産計画 11</p> <p style="padding-left: 40px;">5 労働改善計画 12</p> <p style="padding-left: 40px;">6 級地別土地利用区分 -</p> <p style="padding-left: 40px;">7 土地配分計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第3節 用水計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第4節 排水計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第5節 道路計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第6節 農用地造成計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第7節 洪水調節計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第8節 干拓計画 -</p> <p style="padding-left: 20px;">第9節 農用地整備計画 13</p> <p style="padding-left: 40px;">1 区画整理 13</p> <p style="padding-left: 40px;">2 暗渠排水 13</p> <p style="padding-left: 40px;">3 客土 -</p> <p style="padding-left: 40px;">4 除礫 -</p> <p style="padding-left: 40px;">5 農地保全 -</p> <p style="padding-left: 40px;">6 土壌改良 -</p>
---	---

第5章	主要工事計画	14	～	15	第13章	現況・計画面図	別紙のとおり
第1節	用水施設	-			1	現況平面図	
第2節	排水施設	-			2	計画平面図及び土地利用計画図	
第3節	道路及び索道	-			3	主要構造図	
第4節	農用地造成	-					
第5節	洪水調節施設	-					
第6節	干拓施設	-					
第7節	農用地整備施設	15					
1	区画整理	15					
2	暗渠排水	15					
3	客土	-					
4	除礫	-					
5	農地保全	-					
6	土壌改良	-					
第6章	付帯工事計画	-					
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	16					
第8章	環境との調和への配慮	16					
第9章	換地計画の概要	-					
第10章	事業費の総額及び内訳	16					
第11章	効用	17					
第12章	関連する事業	-					

第1章 目的

本地区は、飼料生産基盤は重粘質土壌であり、また経年化による排水不良や営農作業等による地盤硬化、耕地面の起伏が酷い状況となっており、牧草地の生育不良・裸地化が進行しその生産機能が低下、収量の維持が喫緊の課題となっている。また、高齢化に伴い離農農家が増え、酪農家戸数が減少したことで戸当り飼養頭数は増加傾向にあり預託要望の意識は高まっているが、本地区は、良質な粗飼料確保に不安がある上、牧場利用施設についても施設規模の拡大が図られていないため、地域農家からの要望に応えることが出来ずにいる。

そのため、本事業の実施により、粗飼料生産の低下をきたしている当該公共牧場の草地整備等を行い、粗飼料自給率の向上を目指し、牧養力を高め酪農畜産農家の育成部門の省力化と生産コスト低減により経営の安定化を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	紋別郡雄武町

第2節 地積

(第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	雄武町		311.1		17.6		328.7	
	計		311.1		17.6		328.7	
合計			311.1		17.6		328.7	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	雄 武	か ん が い 期	非 か ん が い 期	計	備 考
観測期間	S17年～H20年	5月～9月	10月～4月	又 は 平 均	
平均気温(℃)		16.0	-0.4	5.7	
降水量	平均(mm)	472	383.9	864.8	
	基準年(mm)				
降雨日数	平均(日)	50.6	89.4	125.0	
	基準年(日)				
根雪期間	12月1日～4月7日			129日間	
無霜期間	5月1日～10月27日			180日間	
最多風向	WSW	最大風速 (風向)		28 m/s SW	最多風向発生時期 1,2,3,4,5,9,10,11,12月 最大風速発生年月日 平成16年9月8日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
雄 武																
観測期間																
S17年～H20年	量			量			量			量			量			
最大日雨量(mm)	140	H10.9.16	1/33	122	H12.9.2	1/17	121	H13.9.10	1/16	119	S56.8.4	1/15	100	H4.9.25	1/7	
最大時間雨量(mm)	32	H7.8.2	1/40	31	H19.8.11	1/34	25	H20.7.23	1/12	24	H11.10.3	1/10	22	H15.9.18	1/7	
最大4時間雨量(mm)	57	H10.9.16	1/27	50	H6.8.14	1/11	49	H13.9.10	1/10	47	H4.7.30	1/8	46	H7.8.2	1/7	
最大連続雨量(mm)	238	H13.9.7 ～ H13.9.13	1/60	201	S56.8.3 ～ S56.8.7	1/26	172	H10.9.15 ～ H10.9.18	1/13	149	H9.8.1 ～ H9.8.5	1/7	140	H4.7.30 ～ H4.7.31	1/6	
最大連続干日数(日)	45	S54.4.1 ～ S54.5.15	1/44	44	H17.6.13 ～ H17.7.26	1/35	37	S60.5.4 ～ S60.6.9	1/8	36	H20.4.1 ～ H20.5.6	1/7	36	H19.4.1 ～ H19.5.6	1/7	

3 海 象 該当なし

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田					計	畑・その他							受益地標高(m)		備考	
	傾斜	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5		3°	3°	8°~15°			15°	20°	計	最高		最低
	区分	以下	1/100	1/100	1/20	1/11.5		以上	以下	8°	8°~10°	10°~15°	15°	20°				
区画整理	面積 (ha)								292.3			36.4				328.7	-	-
	比率 (%)								88.9			11.1				100.0		
合計	面積 (ha)								292.3			36.4				328.7		
	比率 (%)								88.9			11.1				100.0		

(第4表-1-2)

土壌統名	土壌色	土壌断性							堆積様式	母材	面積 (ha)					備考
		腐食層	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層			事業名					
					表土	下層土					区画整理				計	
						一層	二層									
I 褐色森林土	2.5Y3/2	含む	あり	あり	LiC	HC	HC	あり	洪積・残積	非固結水成岩・安山岩、流紋岩	237.1					237.1
II 灰色台地土	10YR4/2	含む	なし	あり	CL	CL	HC	あり	洪積	非固結水成岩	41.5					41.5
III グライ台地土	7.5Y3/2	含む	あり	あり	LiC	HC	HC	あり	洪積	非固結水成岩	50.1					50.1
計											328.7					328.7

2 土地分類 該当なし

3 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	雄武町			311.1				17.6				328.7		
	計			311.1				17.6				328.7		
合計				311.1				17.6				328.7		

4 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	市町村有							計	備考
		区画整理	面積(ha)	180.4	148.3						
受益者数(人)	1		1							1	
筆数(筆)	1		9							10	
権利関係	賃借権		所有権								
備考 (関係戸数)	1		1							1	
合計	面積(ha)	180.4	148.3							328.7	
	受益者数(人)	1	1							35	
	筆数(筆)	1	9							10	
	権利関係	賃借権	所有権								
	備考 (関係戸数)	1	1							1	

第3節 水利状況 該当なし

第4節 道路現況 該当なし

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総数	第1次産業		第2次産業			第3次産業								備考	
		農業・林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱供給水道業	運輸通信業	卸売小売業飲食店	金融保険業	不動産業	サービス業	公務	その他		
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
雄武町	2,524	322	334	-	225	557	11	49	212	24	26	368	107	289		
計	2,524	322	334	-	225	557	11	49	212	24	26	368	107	289	H27 国勢 調査	
比率(%)	100.0	12.8	13.2	-	8.9	22.1	0.4	1.9	8.4	1.0	1.0	14.6	4.2	11.5		

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

市町村名	農家総戸数(戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)			備考
		例規適用も 外のを 定用ける 0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当たり 団地数	団地 当たり 面積 (ha)	専 業	兼 業		
																					第1種	第2種	
雄武町	81	3	-	-	-	-	-	1	-	77	6	128.2		128.2		128.2			59	8	5	2015 農林業 センサ ス	
計	81	3	-	-	-	-	-	1	-	77	6	128.2		128.2		128.2			59	8	5		
比率(%)	100.0	3.7						1.2		95.1	7.4	100.0		100.0		100.0			81.9	11.1	6.9		

注: 農家総戸数には、農家以外の農業事業者及び農業サービス事業者を含む。

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項目	動力農機具								主要家畜								備考
		トラクター		動力田植機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚				
		数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	
雄武町		348	76	-	-	3	1	-	-	7,933	66	X	30	-	-	-	-	
計		348	76	-	-	3	1	-	-	7,933	66	X	30	-	-	-	-	
	100戸当たり数量(台、頭)	458				300		-		12,020		-		-		-		
	利用戸数割合(%)	93.8				1.2		-		81.5		37.0		-		-		

2015農林業センサス

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名		雄 武 町				計		平 均		作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)		10,000				10,000		10,000			
総 本 地 面 積 (ha)		10,000				10,000		10,000			
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
	畑	牧 草	8,463	1,690					8,463	1,690	84.6
そ の 他		1,537	-					1,537	-	15.4	
計		10,000						10,000			
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)		100%						100%		100%	

北海道農林水産統計年報
令和4年～
令和5年

5 農業の動向

【雄武町】

(第7表-5)

区分	項目	農 家		土 地		主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	81.7	69.2	耕地	99.0	99.0	小麦	-	-	乳用牛	95.5	91.9	耕うん機 トラクター	93.6	79.1	農振:有 A:平成27年 (2015)
	専業農家数	90.2	72.0	田	-	-	てんさい	x	-	肉用牛	71.2	x	田植機	-	-	
	第1種 兼業農家数	52.6	42.1	畑	99.0	99.0	ばれいしょ	-	-	豚	-	-	コンバイン	-	-	酪肉:有 C:平成17年 (2005)
	第2種 兼業農家数	33.3	166.7	樹園地	-	-	大豆	-	-							
	農業 従事者数	84.3	65.6	草地	-	-	にんじん	-	-							
変化の理由	離農による農家数及び従事者の減少のため						生産調整のため			離農による農家数及び従事者の減少のため			経営規模の拡大による大型機械の普及のため			

第6節 地域環境の概況

雄武町は北海道の北東部、オホーツク管内の最北端に位置し、北東一帯はオホーツク海に面し、南東は興部町・西興部村、北西は宗谷管内の枝幸町と、南北では上川管内の下川町・名寄市・美深町と隣接しており、南西部一帯が標高700～900mの北部北見山地東斜面であり、オホーツク海に向かって小起伏の山地、丘陵地、台地、海岸段丘へと変化しながら、中小河川が櫛歯状に流下している。

平均気温は5.3℃と低く、降水量は901.2mmと少ない。夏季にはオホーツク海上の高気圧の影響を受け、気温が上がらず度々冷害となる厳しい気象条件下にある。

また、雄武町の地質基盤は、土質が重粘土であるため自然表土層も浅く強酸性を示し、下層は不透水盤層で湿地となる場合が多い。また重粘土は排水不良となる反面、保水力が弱いため、冠水や旱魃の被害に見舞われることがある。

雄武町には日本最北の高層湿原であるピヤシリ湿原が町内に存在し、大小3つの池沼と、モウセンゴケやヒメシヤクゲなどの高山植物が四季の移り変わりとともに咲くことで、美しい景観をつくる景勝地となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

事業名	受益面積 (ha)	工事名	受益面積 (ha)	備考
区画整理	328.7	草地整備改良	311.1	
		関連草地造成改良	17.6	

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	区 画 整 理												計	備考						
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)								
草地整備改良			311.1			311.1													311.1	
関連草地造成改良					17.6	17.6													17.6	
計			311.1		17.6	328.7													328.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
酪農専業(Ⅰ)	経営面積 41ha ・牧草(採草) 41ha 飼養頭数 60頭 ・経産牛 40頭 ・育成牛 20頭	<p><機械設備> トラクター2台・トラック1台・フォレージハーベスター1/3台・モアコンディショナー1/3台・テッピングワゴン1/3台・ロールペーラー1/3台・テッター1/3台・ラッピングマシン1/3台・サイドレキ1/3台・尿散布機1/3台・マニアスプレッダー1/3台・スプレーヤー1/3台・更新用機械一式1/3台</p> <p><施設設備> 畜舎390㎡・バンクリーナー一式・ハルクーラー2.2t・堆肥舎200㎡・尿溜118㎡・農機具庫178㎡・カウハッチ3基・スパーハッチ1基</p> <p><その他> ・従来のスタンションパイプライン牛舎の使用 ・機械の共同利用、共同作業体制の確立によりコストを低減 ・放牧の併用型 ・計画的草地更新による良質自給飼料の安定的確保</p>	<p>・パソコンによる経営計画、労務、財務、生産管理 ・青色申告の実施 ・乳牛検定データの活用 ・財産台帳の整理と簿記の管理による財務分析 ・飼養部門と飼料生産部門の損益と原価の把握、分析</p>	<p>・家族労働の作業別分担制 ・機械の共同作業による省力化 ・作業記録の整理 ・ヘルパー制度利用による休日の確保 <家族労働力> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 <農業所得> 主たる従事者1人当たり 322万円 1経営体当たり 644万円</p>
酪農専業(Ⅱ)	経営面積 61ha ・牧草(採草) 61ha 飼養頭数 90頭 ・経産牛 60頭 ・育成牛 30頭	<p><機械設備> トラクター4台・トラック1台・フォレージハーベスター1台・モアコンディショナー1台・テッピングワゴン1台・ロールペーラー1台・テッター1台・ラッピングマシン1台・サイドレキ1台・尿散布機1台・マニアスプレッダー1台・スプレーヤー1台・更新用機械一式1/2台</p> <p><施設設備> 畜舎520㎡・バンクリーナー一式・ハルクーラー3.5t・堆肥舎301㎡・尿溜117㎡・農機具庫250㎡・カウハッチ6基・スパーハッチ2基</p> <p><その他> ・従来のスタンションパイプライン牛舎の使用 ・育成牛の公共牧場への預託又は自家育成 ・収穫機械の個人所有と草地更新用機械の共同利用、共同作業体制の確立によりコストを低減 ・放牧の併用型 ・計画的草地更新による良質自給飼料の安定的確保</p>	<p>・パソコンによる経営計画、労務、財務、生産管理 ・青色申告の実施 ・乳牛検定データの活用 ・財産台帳の整理と簿記の管理による財務分析 ・飼養部門と飼料生産部門の損益と原価の把握、分析</p>	<p>・家族労働の作業別分担制 ・収穫作業機は個人所有とし、草地更新用機械の共同利用による省力化 ・収穫期の短期雇用による労働時間の軽減 ・作業記録の整理 ・ヘルパー制度利用による休日の確保 <家族労働力> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 <農業所得> 主たる従事者1人当たり 483万円 1経営体当たり 965万円</p>
営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
	経営面積 79ha ・牧草(採草) 79ha 飼養頭数 120頭 ・経産牛 80頭 ・育成牛 40頭	<p><機械設備> トラクター4台・トラック1台・フォレージハーベスター1台・モアコンディショナー1台・テッピングワゴン1台・ロールペーラー1台・テッター1台・ラッピングマシン1台・サイドレキ1台・尿散布機1台・マニアスプレッダー1台・スプレーヤー1台・更新用機械一式1/2台</p> <p><施設設備></p>	<p>・パソコンによる経営計画、労務、財務、生産管理 ・青色申告の実施 ・乳牛検定データの活用 ・財産台帳の整理と簿記の管理による財務分析</p>	<p>・家族労働の作業別分担制 ・収穫作業機は個人所有とし、草地更新用機械の共同利用による省力化 ・収穫期の短期雇用による労働時間の軽減</p>

酪農専業(Ⅲ)		畜舎780㎡・バンクリーナー一式・ハルクーラー4.5t・堆肥舎402㎡・尿溜236㎡・農機具庫250㎡・カウハッチ10基・スパーハッチ3基 <その他> ・従来のスタンションパイプライン牛舎の使用 ・育成牛の公共牧場への預託又は自家育成 ・収穫機械の個人所有と草地更新用機械の共同利用、共同作業体制の確立によりコストを低減 ・放牧の併用型	・飼養部門と飼料生産部門の損益と原価の把握、分析	・作業記録の整理 ・ヘルパー制度利用による休日の確保 ・通年雇用者の確保による家族労働力の負担軽減 <家族労働力> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 2人 <農業所得> 主たる従事者1人当たり 657万円 1経営体当たり 1,971万円
営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
酪農専業(Ⅳ)	経営面積 116ha ・牧草(採草) 116ha 飼養頭数 180頭 ・経産牛 120頭 ・育成牛 60頭	<機械設備> トラクター4台・トラック2台・フォレージハーベスター1台・ホイルローダー1台・モアコンディショナー1台・チップコン1台・ロールペーラー1台・テッター1台・ラッピングマシン1台・サイドレキ1台・スライスプレッダー1台・マニユアプレッダー1台・スプレーヤー1台・TMRミキサ1台・更新用機械一式 <施設設備> 畜舎1,200㎡・ミルクンパーラー1棟・スライストア1,050㎡・育成舎326㎡・ハルクーラー6.0t・堆肥舎164㎡・農機具庫326㎡・カウハッチ15基・スパーハッチ5基 <その他> ・フリーストール方式への改修 ・育成牛の公共牧場への預託又は自家育成 ・草地更新用機械の個人所有 ・自給飼料生産の一部はコントラクターに委託	・パソコンによる経営計画、労務、財務、生産管理 ・青色申告の実施 ・乳牛検定データの活用 ・財産台帳の整理と簿記の管理による財務分析 ・飼養部門と飼料生産部門の損益と原価の把握、分析	・家族労働の作業別分担制 ・収穫作業機は個人所有とするが、作業の一部はコントラクターへの委託により省力化 ・作業記録の整理 ・ヘルパー制度及び常雇用による休日の確保 ・通年雇用者の確保による家族労働力の負担軽減 <家族労働力> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 2人 <農業所得> 主たる従事者1人当たり 239万円 1経営体当たり 1,432万円

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
酪農専業(V)	経営面積 327ha ・牧草(採草)327ha 飼養頭数 570頭 ・経産牛 300頭 ・育成牛 270頭	<p><機械設備> トラクター5台・トラック2台・モアコンディショナー2台・ロールバレー1台・自走式ハvester1台・ホイルローダー1台・サイドレキ2台・テッター2台・バキュームカー1台・TMRミキサー1台・テッピングワゴン1台・スプレーヤー1台</p> <p><施設設備> 畜舎3,000㎡・ミルクパラー1棟・事務室300㎡・スラリーストア72,630㎡・ハルクローラー4.0t×2・堆肥舎735㎡・農機具庫500㎡</p> <p><その他> ・フリーストール方式、ミルクパラー方式の導入 ・大型機械の利用、作業体制の確立と効率化 ・スラリーの全面散布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンによる経営計画、労務、財務、生産管理 ・青色申告の実施 ・乳牛検定データの活用 ・財産台帳の整理と簿記の管理による財務分析 ・飼養部門と飼料生産部門の損益と原価の把握、分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働の作業別分担制 ・大型収穫機械の利用による収穫作業の効率化 ・作業記録の整理 ・フリーストール方式により、ゆとりのある経営の実現又は法人経営の実現 ・通年雇用者の確保による家族労働力の負担軽減 <家族労働力> ・主たる従事者 3人 ・補助従事者 3人 <農業所得> 主たる従事者1人当たり 454万円 1経営体当たり 2,723万円
営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
肉用牛専業	経営面積 45ha ・牧草(採草)45ha 飼養頭数 500頭 ・肉用牛 500頭	<p><機械設備> トラクター2台・トラック1台・タイヤショベル1台・ロールシュレッター1台・フロントローダー2台・モアコンディショナー1台・テッター1台・ロールバレー1台・サイドレキ1台</p> <p><施設設備> 畜舎1,915㎡・堆肥舎1,295㎡・乾草庫931㎡・飼料庫396㎡・農機具庫250㎡・カーフハッチ60基・スパーハッチ15基・家畜計量器1台</p> <p><その他> ・自給飼料と濃厚飼料多給方式による乳牛一貫肥育 ・堆肥については圃場還元 ・省力的多頭飼料管理技術と肥育技術の高度化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンによる経営計画、労務、財務、生産管理 ・青色申告の実施 ・財産台帳の整理と簿記の管理による財務分析 ・飼養部門と飼料生産部門の損益と原価の把握、分析 ・販売網の多様化や有利な販売の確立 ・飼料費の経常的把握と飼料設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族労働の作業別分担制 ・収穫作業機械の個人所有 ・作業記録の整理 ・ヘルパー制度利用による休日の確保 <家族労働力> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 2人 <農業所得> 主たる従事者1人当たり 1,342万円 1経営体当たり 2,683万円

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況			311.1						17.6		328.7	
	計画			328.7								328.7	
計	現況			311.1						17.6		328.7	
	計画			328.7								328.7	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分 (作物)	1 年 目												2 年 目												3 年 目																																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																												
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月																												
区画整理	現況	酪農	牧草地 (牧草)								○	○																																																							
	計画	酪農	牧草地 (牧草)								○	○																																																							

播種:○-○、収穫:×-×

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	土地利用区分	項目 表作	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
				計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
区画整理		畑	牧草	311.1	328.7	17.6	100.0	100.0	1,277	3,300	2,023	3,971.3	10,843.8	5,745.7	17.6	2,023.0	
			小計	311.1	328.7	17.6	100.0	100.0				3,971.3	10,843.8	5,745.7	17.6	2,023.0	
			計	311.1	328.7	17.6						3,971.3	10,843.8	5,745.7	17.6	2,023.0	
合計				311.1	328.7	17.6						3,971.3	10,843.8	5,745.7	17.6	2,023.0	

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
区 画 整 理	牧草畑	牧草(更新)	29.6	人 力	20.50	17.10	△ 3.40	区画整理(起伏修正 I)
				機 械 力	20.50	17.10	△ 3.40	
			14.9	人 力	21.80	17.10	△ 4.70	排水改良
				機 械 力	21.80	17.10	△ 4.70	
			2.5	人 力	20.50	17.10	△ 3.40	草地造成 I
				機 械 力	20.50	17.10	△ 3.40	
		牧草(乾草)	26.5	人 力	20.30	17.30	△ 3.00	区画整理(起伏修正 I)
				機 械 力	20.30	17.30	△ 3.00	
			13.3	人 力	21.20	17.30	△ 3.90	排水改良
				機 械 力	21.20	17.30	△ 3.90	
			2.3	人 力	20.30	17.30	△ 3.00	草地造成 I
				機 械 力	20.30	17.30	△ 3.00	
		牧草 (サイレージ)	86.5	人 力	18.30	15.70	△ 2.60	区画整理(起伏修正 I)
				機 械 力	18.30	15.70	△ 2.60	
			43.6	人 力	19.10	15.70	△ 3.40	排水改良
				機 械 力	19.10	15.70	△ 3.40	
			7.4	人 力	18.30	15.70	△ 2.60	草地造成 I
				機 械 力	18.30	15.70	△ 2.60	
		牧草(放牧)	64.4	人 力	12.00	10.80	△ 1.20	区画整理(起伏修正 I)
				機 械 力	12.00	10.80	△ 1.20	
32.4	人 力		12.00	10.80	△ 1.20	排水改良		
	機 械 力		12.00	10.80	△ 1.20			
5.5	人 力		12.00	10.80	△ 1.20	草地造成 I		
	機 械 力		12.00	10.80	△ 1.20			
計			328.7					
合 計			328.7					

6 級地別土地利用区分 該当なし

7 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5節 道路計画 該当なし

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調節計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1)区画の形状

(第16表-1-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
270 × 180	486	328.7	100.0	-	
計		328.7	100.0		

(2)表土扱い 該当なし

2 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第16表-2-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考
	事業名								
	区画整理		計						
牧草畑	66.1		66.1	I 褐色森林土	30	3.47	60cm以下	自然排水	
	18.2		18.2	II 灰色台地土	30	3.47	60cm以下	自然排水	
	19.9		19.9	III グライ台地土	30	3.47	60cm以下	自然排水	
計	104.2		104.2						

(2)心土破碎 該当なし

3 客土 該当なし

4 除礫 該当なし

5 農地保全 該当なし

6 土壤改良 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓計画 該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1)区画整理

(第23表-2-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
起 伏 修 正 I	311.1	270 × 180				暗渠排水 104.2ha
草 地 造 成 I	17.6	270 × 180		17.6	44,000	
計	328.7			17.6	44,000	

2 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第23表-2-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠					集水渠出口以下の排水施設			備 考	
	事 業 名			勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造		数 量 (m/ha)
	区 画 整 理		計														
牧草畑	104.2		104.2	1/300 ~ 1/600	合成樹脂管	60~150	13,963	1/30 ~ 1/600	合成樹脂管	60~90	0.6	10	92,946	既設排水			
計	104.2		104.2				13,373						92,946				

(2)心土破碎 該当なし

3 客 土 該当なし

4 除 礫 該当なし

5 農地保全 該当なし

6 土壌改良 該当なし

第6章 付帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

令和4年4月～令和9年3月

第8章 環境との調和への配慮

地区内の排水が流出する音稲府川、幌内川への環境配慮を重点とし、工事にあたっては土砂、濁水の流出を防止するため、次のことに配慮する。

【草地整備改良、草地造成改良】

土砂流出が懸念される場合は施工時期を調整、基盤切り盛りを行う圃場においては必要に応じて沈砂池や大型土のうの設置を検討。

【工事全体】

- ・降雨時の施工は極力避け、必要に応じてシートで保護する。
- ・周辺環境に配慮し、機械施工を行う場合は、排出ガス対策型の使用や騒音、振動の発生を極力抑えるよう努める。

第9章 換地計画の概要 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

内訳	事業名	全体事業費 (千円)	区画整理 (千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	備考
	主要工事費	667,914	667,914					令和7年度単価
	付帯工事費							
	合計	667,914	667,914					
（関連 参事 考業 ） 費	国営							
	道営							
	団体営							
	非補助							
	計							

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区分 効果項目	年総効果(便益)額 (千円)	現況年総農業所得額 (千円)	年総増加農業所得額		備 考
				(千円)	うち機能向上分	
区 画 整 理	食料の安定供給に関する効果	85,425		135,760	135,760	〈参考〉 総便益額(現在価値化): 2,521,373 千円 総費用(現在価値化): 756,700 千円 総費用総便益比: 3.33 総所得償還率: - % 増加所得償還率: - %
	農業の持続的発展に関する効果					
	農村の振興に関する効果					
	多面的機能の発展に関する効果					
	そ の 他	35,489				
	計	120,914		135,760	135,760	

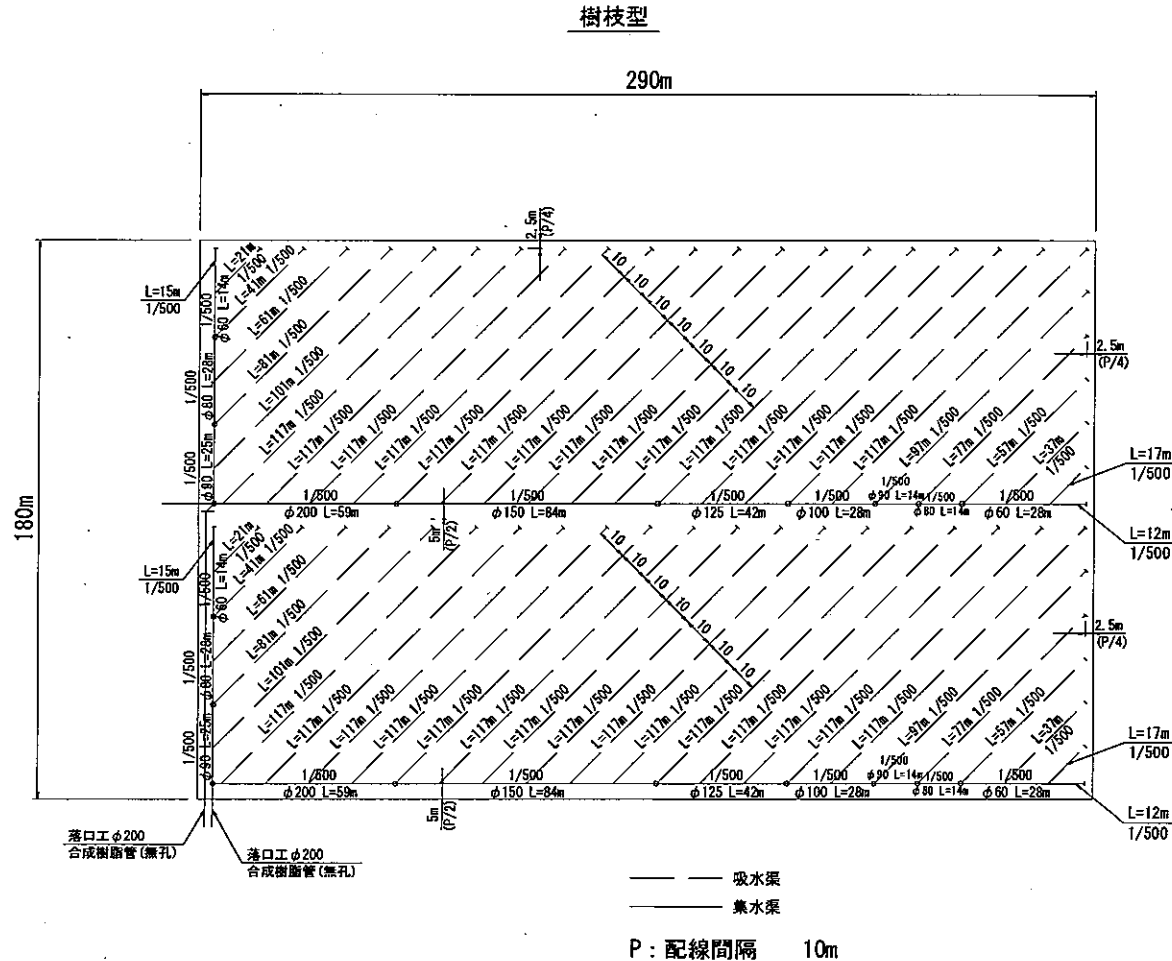
第12章 関連する事業 該当なし

第13章 現況計画平面図

- 1 現況平面図 該当なし
- 2 計画平面図及び土地利用計画図 別紙のとおり
- 3 主要構造図 別紙のとおり

幌内第2地区 主要構造図

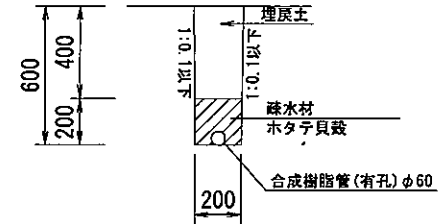
暗渠排水配線図



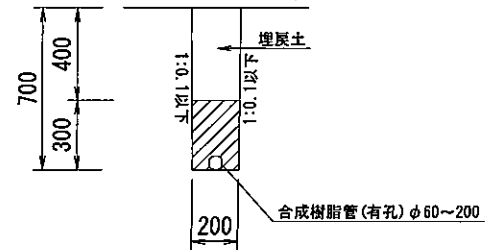
暗渠排水標準断面図

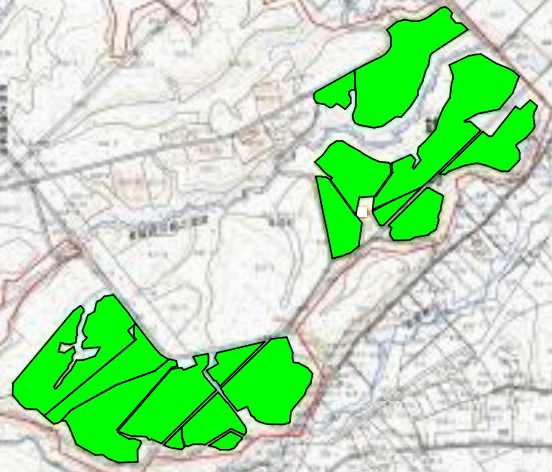
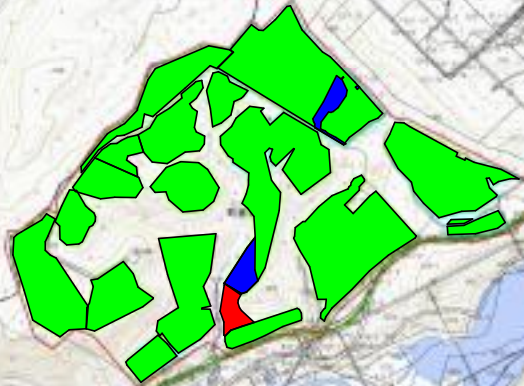
バックホウ掘削（スリム型）

吸水渠



集水渠





凡 例	
	継 続
	新 規
	除 外

凡 例	
	市 町 村 界
	地 区 界
	国 道
	主 要 道 道

事業種	変更前	変更後	増減量	増減率(%)	増減内訳		
					継続	新規	除外
区画整理	336.2	328.7	△ 7.5	-2.2	322.1	6.6	14.1

単位：ha

